

参考1 INSネットの使用条件

INSネットサービスを利用する場合は、各種機能や付加サービスの利用について契約時にユーザが指定する事項があります。指定の対象となる機能や付加サービスの詳しい内容については、回線交換は本資料レイヤ3仕様、付加サービス仕様を参照して下さい。

1. 回線交換サービスの使用条件

1.1 指定事項

表 1. 1 指定事項 (1/2)

項目	概要	指定事項	備考																																	
使用形態	<p>使用形態は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形態</th> <th colspan="3">インタフェース種別</th> <th rowspan="2">レイヤ2構造</th> </tr> <tr> <th>2B+D</th> <th>23B+D</th> <th>24B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>形態1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>p-mp</td> </tr> <tr> <td>形態2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>p-p</td> </tr> <tr> <td>形態3</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>p-p</td> </tr> <tr> <td>形態4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>m</td> <td>p-p</td> </tr> <tr> <td>形態5</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>n</td> <td>p-p</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">$1 \leq m \leq 8 \quad 1 \leq n \leq 8$</p> <p>非制限384kbit/s 回線交換サービスは形態3～5で利用可能 非制限1536kbit/s回線交換サービスは形態4～5で利用可能</p> <p>p-mp:ポイント・マルチポイント接続* p-p :ポイント・ポイント接続*</p>	形態	インタフェース種別			レイヤ2構造	2B+D	23B+D	24B	形態1	1	0	0	p-mp	形態2	1	0	0	p-p	形態3	0	1	0	p-p	形態4	1	0	m	p-p	形態5	0	1	n	p-p		<p>ここで、1つのDチャンネルによって制御されるインタフェースを総称してインタフェースグループと呼びます。</p> <p>*:「接続」とは、レイヤ2のデータリンクの構成を示しており、レイヤ1の配線構成を示すものではありません。</p> <p>p-p接続の場合、利用可能なTEIは“0”のみとなります。</p>
形態	インタフェース種別			レイヤ2構造																																
	2B+D	23B+D	24B																																	
形態1	1	0	0	p-mp																																
形態2	1	0	0	p-p																																
形態3	0	1	0	p-p																																
形態4	1	0	m	p-p																																
形態5	0	1	n	p-p																																
レイヤ1起動種別	レイヤ1を常時起動状態にすることができます。	呼毎起動、常時起動のいずれかを指定します。但し、p-mp接続に限ります。	p-p接続の場合は常時起動となります。																																	
情報転送能力	非制限 384kbit/s回線交換、1536kbit/s回線交換を使用できます。	利用の有無を指定します。																																		
レイヤ2呼制御信号用リンク数の指定	呼制御信号用リンク(SAPI=0)のデフォルト値を拡張して利用することができます。	p-mpの場合、呼制御用信号用リンク数を9以上必要とするときに、その数を指定します。 (注1) (注2)	・デフォルト値は8(呼制御)																																	

表 1. 1 指定事項 (2 / 2)

項 目	概 要	指定事項	備 考						
呼番号長の指定	基本インタフェースを用いるDチャンネル共用時に用いる呼番号長を選択できます。	<p>選択は以下の表より行います。</p> <table border="1"> <tr> <td>呼番号長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 オクテット長 ・ 2 オクテット長 </td> </tr> </table>	呼番号長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 オクテット長 ・ 2 オクテット長 	呼制御を行うときは、契約時に指定した値が固定的に使用されます。				
呼番号長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 オクテット長 ・ 2 オクテット長 								
発信者番号通知サービス	発信者番号を着側のユーザに通知するサービスです。	<p>選択は以下の表より行います。</p> <table border="1"> <tr> <td>通知モード</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 呼毎指定 ・ 常時拒否 </td> </tr> <tr> <td>デフォルト (呼毎指定のときのみ)</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>デフォルト 通知許可</td> </tr> <tr> <td>デフォルト 通知拒否</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	通知モード	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呼毎指定 ・ 常時拒否 	デフォルト (呼毎指定のときのみ)	<table border="1"> <tr> <td>デフォルト 通知許可</td> </tr> <tr> <td>デフォルト 通知拒否</td> </tr> </table>	デフォルト 通知許可	デフォルト 通知拒否	デフォルトは 呼毎指定 デフォルト通知許可
通知モード	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呼毎指定 ・ 常時拒否 								
デフォルト (呼毎指定のときのみ)	<table border="1"> <tr> <td>デフォルト 通知許可</td> </tr> <tr> <td>デフォルト 通知拒否</td> </tr> </table>	デフォルト 通知許可	デフォルト 通知拒否						
デフォルト 通知許可									
デフォルト 通知拒否									
インタフェース ID		使用形態が形態4と形態5の時にインタフェース毎に1～126までの番号を重複の無いように指定します。	1次群速度インタフェースの場合に限ります。						
ユーザ間情報通知	呼設定時及び切断復旧時に信号チャネルを用いて1メッセージあたり最大128オクテットまでの情報を伝達するサービスです。	ユーザ間情報受信側で、利用の有無を、指定します。							

(注1) 呼制御信号用リンクとパケット情報用リンク (最大8) の和が16以下になるように指定します。

(注2) p-pの場合は、呼制御信号用リンク数は1に固定です。